

(仮称) 農業及び食の流通・観光産業
拠点整備事業 (道の駅)

環境影響評価書

令和 7 年 4 月

さいたま市

目 次

序 章 環境影響評価書作成の経緯	序-	1
序.1 環境影響評価書の位置づけ	序-	1
序.2 評価書作成までの経緯	序-	3
第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地	1-	1[1]
第2章 対象事業の目的及び概要	2-	1[3]
2.1 対象事業の名称	2-	1[3]
2.2 対象事業の目的	2-	1[3]
2.3 対象事業の実施区域	2-	1[3]
2.4 対象事業の規模	2-	4[6]
2.5 対象事業の実施期間	2-	4[6]
2.6 対象事業の実施方法	2-	4[6]
2.6.1 土地利用計画	2-	4[6]
2.6.2 建築計画	2-	6[8]
2.6.3 駐車場計画	2-	9[11]
2.6.4 交通動線計画	2-	10[12]
2.6.5 供給施設計画	2-	12[14]
2.6.6 処理施設計画	2-	13[15]
2.6.7 廃棄物処理計画	2-	19[21]
2.6.8 防災計画	2-	19[21]
2.7 工事計画	2-	20[22]
2.7.1 工事工程	2-	20[22]
2.7.2 造成計画	2-	20[22]
2.7.3 地盤改良工	2-	21[23]
2.7.4 資材運搬等の車両の走行経路	2-	22[24]
2.7.5 工事中の雨水等排水計画	2-	24[26]
2.7.6 工事中における環境保全対策	2-	27[29]
第3章 地域特性	3-	1[35]
3.1 社会的状況	3-	2[36]
3.1.1 人口及び産業の状況	3-	2[36]
3.1.2 土地利用の状況	3-	6[40]
3.1.3 河川及び湖沼の利用並びに地下水の利用状況	3-	10[44]
3.1.4 交通の状況	3-	13[47]
3.1.5 学校、病院その他の環境保全についての配慮が特に必要な施設及び 住宅の分布状況	3-	16[50]
3.1.6 下水道、し尿処理施設及びごみ処理・処分施設の整備の状況	3-	23[57]
3.1.7 対象事業に係る関係法令等の状況	3-	25[59]
3.1.8 その他の事項	3-	26[60]

3.2	自然的状況	3-	28[62]
3.2.1	大気質、騒音、振動、悪臭、その他の大気に係る環境の状況	3-	28[62]
3.2.2	水質、底質、水象その他の水に係る環境の状況	3-	45[79]
3.2.3	土壌及び地盤の状況	3-	52[86]
3.2.4	地形・地質	3-	57[91]
3.2.5	動物の生息・種類、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況	3-	61[95]
3.2.6	景観、自然とのふれあいの場の状況	3-	78[112]
3.2.7	文化財その他の生活環境の状況	3-	81[115]
第4章	関係地域	4-	1[123]
4.1	環境に影響を及ぼす地域の基準	4-	1[123]
4.2	環境に影響を及ぼす地域	4-	1[123]
第5章	調査計画書について環境の保全の見地からの意見を有する者の意見の概要	5-	1[125]
第6章	調査計画書についての市長の意見	6-	1[131]
第7章	第5章及び第6章の意見についての事業者の見解	7-	1[135]
7.1	環境の保全の見地からの意見を有する者の意見の概要と事業者の見解	7-	1[135]
7.2	市長の意見と事業者の見解	7-	17[151]
第8章	環境影響評価の調査項目及び調査方法	8-	1[157]
8.1	環境影響評価の項目	8-	1[157]
8.1.1	環境影響要因の把握	8-	1[157]
8.1.2	環境影響評価項目の選定	8-	1[157]
8.1.3	環境影響評価項目の選定理由	8-	4[160]
8.2	調査方法	8-	8[164]
第9章	第8章の選定についての市長の技術的助言の内容	9-	1[169]
第10章	調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果	10.1-	1[171]
10.1	大気質	10.1-	1[171]
10.1.1	調査	10.1-	1[171]
10.1.2	予測	10.1-	24[194]
10.1.3	評価	10.1-	60[230]
10.2	騒音・低周波音	10.2-	1[240]
10.2.1	調査	10.2-	1[240]
10.2.2	予測	10.2-	13[252]
10.2.3	評価	10.2-	37[276]
10.3	振動	10.3-	1[282]
10.3.1	調査	10.3-	1[282]
10.3.2	予測	10.3-	12[293]
10.3.3	評価	10.3-	26[307]

10.4	水質	10.4-	1	[312]
10.4.1	調査	10.4-	1	[312]
10.4.2	予測	10.4-	21	[332]
10.4.3	評価	10.4-	28	[339]
10.5	水象	10.5-	1	[342]
10.5.1	調査	10.5-	1	[342]
10.5.2	予測	10.5-	12	[353]
10.5.3	評価	10.5-	19	[360]
10.6	地盤	10.6-	1	[362]
10.6.1	調査	10.6-	1	[362]
10.6.2	予測	10.6-	8	[369]
10.6.3	評価	10.6-	19	[380]
10.7	動物	10.7-	1	[381]
10.7.1	調査	10.7-	1	[381]
10.7.2	予測	10.7-	51	[431]
10.7.3	評価	10.7-	69	[449]
10.8	植物	10.8-	1	[453]
10.8.1	調査	10.8-	1	[453]
10.8.2	予測	10.8-	35	[487]
10.8.3	評価	10.8-	43	[495]
10.9	生態系	10.9-	1	[499]
10.9.1	調査	10.9-	1	[499]
10.9.2	予測	10.9-	13	[511]
10.9.3	評価	10.9-	22	[520]
10.10	景観	10.10-	1	[524]
10.10.1	調査	10.10-	1	[524]
10.10.2	予測	10.10-	37	[560]
10.10.3	評価	10.10-	48	[571]
10.11	自然とのふれあいの場	10.11-	1	[572]
10.11.1	調査	10.11-	1	[572]
10.11.2	予測	10.11-	25	[596]
10.11.3	評価	10.11-	34	[605]
10.12	廃棄物等	10.12-	1	[608]
10.12.1	調査	10.12-	1	[608]
10.12.2	予測	10.12-	5	[612]
10.12.3	評価	10.12-	18	[625]
10.13	温室効果ガス等	10.13-	1	[627]
10.13.1	予測	10.13-	1	[627]
10.13.2	評価	10.13-	12	[638]
10.14	コミュニティ	10.14-	1	[642]
10.14.1	調査	10.14-	1	[642]
10.14.2	予測	10.14-	8	[649]
10.14.3	評価	10.14-	17	[658]

10.15	地域交通	10.15-	1[661]
10.15.1	調査	10.15-	1[661]
10.15.2	予測	10.15-	21[681]
10.15.3	評価	10.15-	36[696]
第11章	環境の保全のための措置	11-	1[701]
11.1	予測・評価に際して講ずることとした環境の保全のための措置	11-	1[701]
11.1.1	環境の保全のための措置の検討	11-	1[701]
11.1.2	環境の保全のための措置	11-	1[701]
11.2	代償措置の実施計画	11-	9[709]
11.2.1	植物に係る代償措置	11-	9[709]
第12章	対象事業の実施による影響の総合的な評価	12-	1[711]
第13章	事後調査の計画	13-	1[737]
13.1	事後調査項目並びに選定項目のうち事後調査項目から除外する項目及びその理由	13-	1[737]
13.1.1	事後調査項目の選定	13-	1[737]
13.1.2	事後調査項目から除外する項目及びその理由	13-	3[739]
13.2	事後調査方法等	13-	4[740]
13.3	事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合の対応方針	13-	33[769]
13.4	事後調査の実施体制	13-	33[769]
13.4.1	事後調査書の提出時期	13-	33[769]
13.4.2	事後調査を実施する主体	13-	33[769]
第14章	環境影響評価の受託者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	14-	1[771]
第15章	準備書について環境の保全の見地からの意見を有する者の意見の概要	15-	1[773]
第16章	準備書についての市長の意見	16-	1[785]
第17章	第15章及び第16章の意見についての事業者の見解	17-	1[789]
17.1	環境の保全の見地からの意見を有する者の意見の概要と事業者の見解	17-	1[789]
17.2	市長の意見と事業者の見解	17-	28[816]

資料編

本書の地形図は、国土地理院発行の2万5千分の1電子地形図を使用しています。